

研究レポート No.705 岩手県農業研究センター

多収、高品質大豆「シュウリュウ」の栽培法

【1 播種適期と栽植密度】

地帯	播種適期(月/日)		栽植密度(本/10a)	播種量(kg/10a)
県南部	標播	6/1 - 6/15	10,000 - 15,000	3.5-5.3
	晩播	6/16 - 6/20	15,000	5.3
県中部	標播	5/15 - 6/5	10,000 - 15,000	3.5-5.3
県北部	標播	5/20 - 5/31	15,000	5.3

【2 増収技術】

転換畑では、小畦立て播種栽培および追肥培土栽培を導入することで、それぞれ10%程度の収量増が期待できます。

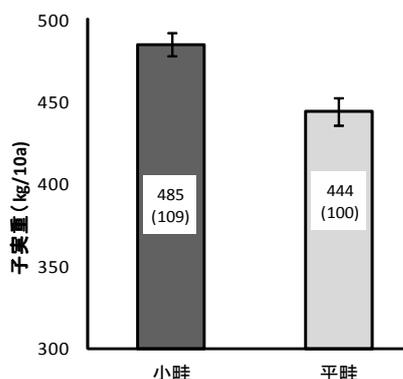


図 小畦立て播種による子実重
・括弧内の数字は平畦播種対比

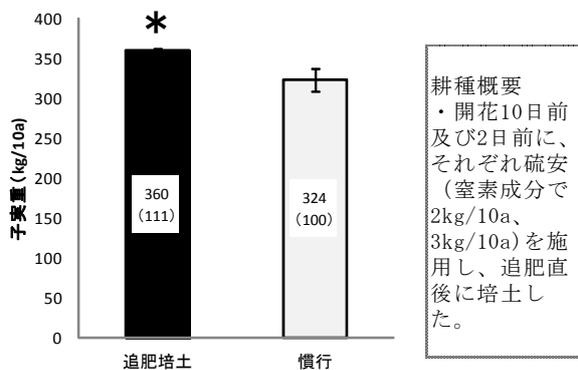


図 開花期追肥培土試験

・括弧内の数字は、慣行栽培対比
・*は有意な差、Iは誤差の範囲を示しています。

耕種概要
・開花10日前及び2日前に、それぞれ硫安(窒素成分で2kg/10a、3kg/10a)を施用し、追肥直後に培土した。

【3 効果】

大豆の生産力及び品質の向上による安定生産・供給及び実需確保

【4 留意事項】

- (1) 施肥は、窒素施肥量2~4kg/10aを基準量とし、肥沃地では少なめとします。
- (2) 病虫害防除等の管理技術は「リュウホウ」の体系に準じて行います。
- (3) 除草剤「大豆バサグラン液剤」に対して、薬害や減収が発生する場合がありますので、散布する場合は、H25 研究成果「除草剤ベンタゾン液剤に対する大豆「シュウリュウ」の反応特性および薬害を軽減する方法」を参考にしてください。

【5 適応対象】

- (1) 地帯 県下全域 (標高 300m 以下)
- (2) 対象者 大豆生産者及び農業改良普及センター等指導機関

担当研究室 技術部 作物研究室

〒024-0003 北上市成田 20-1 Tel.0197-68-4417 FAX.0197-71-1083